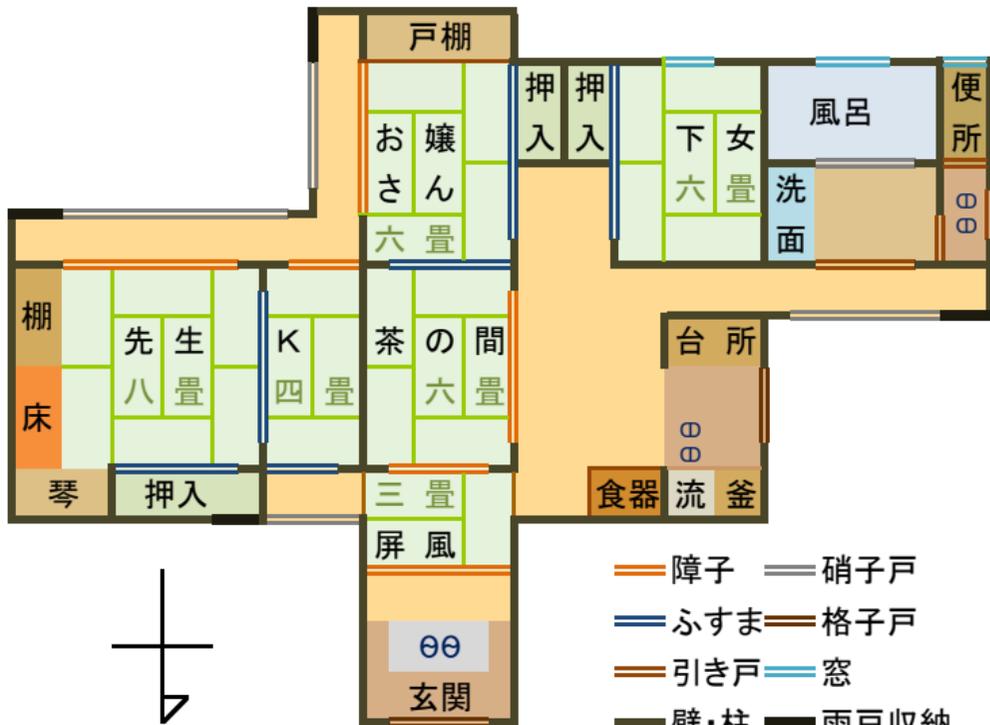


【夏目漱石作『こころ』下宿想像図】 2015.5.25JH



玄関を真直ぐに行けば、茶の間、御嬢さんの間と二つ続いていて、左に折れるとKの室、先生の室という間取り。

(先生の室)
窓は一つもないが、押入の反対側に南向きの縁がある。

玄関からは四畳の控の間(西にあるKの室)を横切らなければ行けない。

御嬢さんの室は鍵の手に曲がった筋違いにある。

御嬢さんが先生を呼びに来る時縁側を直角に曲がって先生の室の前に立つか、茶の間を抜けて次の室の襖の陰から姿を見せる。